2026.9.10 -

LION Digital Transformation

組織紹介資料

Lion Corporation.

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

1891年の創業以来、ライオンは「より良い習慣づくり」を通じて人々のくらしに寄り添ってきました。歯みがきや洗濯、掃除といった毎日の何気ない日常を、より健やかで心地よいものへ変えていく“習慣づくり”こそが、私たちの事業の原点です。この前向きな変化の積み重ねによって人々の毎日に貢献することが、ライオンのパーパスである「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」であり、130年以上にわたり受け継がれてきた精神です。

当社はこの精神を礎に事業を展開し、2030年に向けた中長期経営戦略フレーム「Vision2030」の実現に向けて経営変革を推進しています。2nd STAGE（2025年～2027年）では、「収益力の強靭化」をテーマに、持続的な成長と企業価値向上を目指しています。

その実現に向けた基本方針の一つである「経営基盤の強化」では、「グループR&D体制の強化」「収益力強靭化を実現するDX」「コーポレート・ガバナンスの強化」を重要テーマとして推進しています。

なかでも当社は、DXを単なる業務効率化の手段ではなく、データとデジタル技術を活用して事業変革を実現し、新たな価値を創出するための経営戦略そのものと位置づけています。

具体的には、刷新した基幹システムを基盤に全社のデータ活用を高度化し、経営意思決定の迅速化とバリューチェーン全体の最適化を目指しています。さらに、生活者の声や行動データと、長年培ってきた研究開発・マーケティングの知見、AIをはじめとするデジタル技術を掛け合わせることで、お客様への提供価値を高める新たな商品・サービスの創出に挑戦しています。

私自身、DXを「企業価値向上を支える重要な経営課題」と捉え、その推進に主体的に関わっています。今後もデジタル基盤への投資やDXを牽引する人材の育成を継続し、事業部門とデジタル部門が一体となった変革を加速させます。これにより、ライオンならではの「より良い習慣づくり」をデジタルの力で進化させ、持続的な成長と社会への価値提供を実現してまいります。

代表取締役兼社長執行役員

竹森 征之

事業構成

今日を愛する。
LION

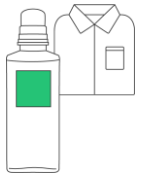
54%

一般用消費財事業

オーラルケア

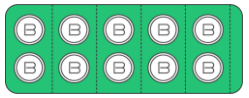
ビューティケア

ギフト・ノベルティ


ファブリックケア

リビングケア

歯科ルート品


薬品

ペット用品

9%

産業用品事業

業務用洗浄剤

産業用品事業

37%

海外事業

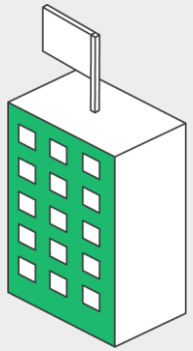
海外事業

※2024年12月31日現在

今日を愛する。
LION

創業

133年



石けんとハミガキから始まったライオンは、
1891年の創業以来、より良い習慣づくりを提案してきました。

事務所・拠点

国内

事業所 **12**

オフィス **6** 拠点
研究所 **2** 拠点
工場 **4** 拠点

関係会社 **9**

海外

11 拠点

従業員数

7,654名

※グループ連結
※2024年12月31日現在

連結業績

売上高 **4,129億円**

事業利益 **263億円**

※2024年 国際財務報告基準（IFRS）
※事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

当社グループは、2030年に向けた経営ビジョン
「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」
を掲げています。
ビジョン実現にむけ、パーパスを起点とした経営を
一層強化し、サステナブルな社会への貢献と
事業の成長を目指すべく中長期経営戦略フレーム
「Vision(ビジョン)2030」を策定。
アジアを中心に習慣づくりを通じた社会価値、
経済価値の創出を目指します。

経営ビジョン

次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ

3rd STAGE (2028-2030)

より良い習慣づくりの拡大による
アジアにおける成長加速

2nd STAGE (2025-2027)

収益力の強靭化

1st STAGE (2022-2024)

成長軌道化と新たな成長起点の創出

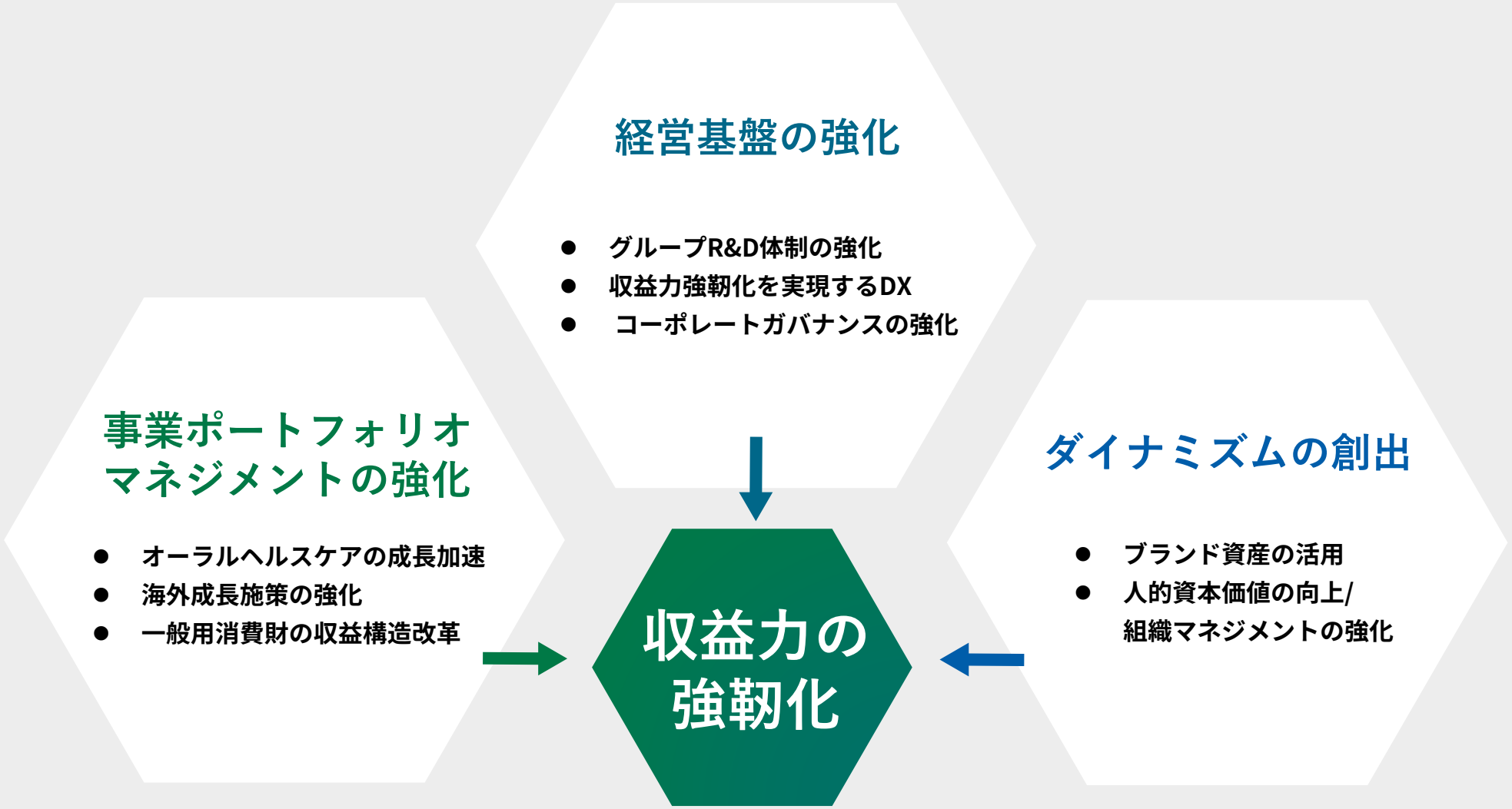
パーパス

ReDesign

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

Lion Corporation.

「Vision20302nd STAGE」における、収益力の強靭化に向けた3つの基本方針



執行役員
全社デジタル戦略担当、デジタル戦略部担当

中林 紀彦

日本アイ・ビー・エム株式会社においてデータサイエンティストとして顧客支援に従事。
株式会社オプト、SOMPOホールディングス株式会社、ヤマトホールディングス株式会社の執行役員を歴任し、2024年4月にライオン株式会社の執行役員に就任。

デジタルの力で、新しい時代の習慣を作る。

ライオンには、130年以上にわたり真摯にモノづくりと習慣づくりに向き合ってきた歴史があります。例えば、モノづくりにおいては、ハミガキに使われる天然ミントの香料開発が挙げられます。研究者の経験と技術が質の高い香りを生み出してきました。また、習慣づくりにおいては、90年以上にわたり『全国小学生歯みがき大会』を開催するなど、時代に先駆けてより良い習慣を提案してきました。この伝統を継承しながら、デジタルという新たな武器を使って「これまでにない習慣や体験価値」を創り出すことが、私たちの挑戦です。日常のライフスタイルの変化と、ライオンが蓄積してきた膨大な研究・生活者データ、そしてAIをはじめとする最新テクノロジーを掛け合わせることで、新しいプロダクトの開発やサービスを生み出していきます。

私たちは、デジタル技術の導入そのものを目的とするのではなく、経営や事業のあり方を変革するトランスフォーメーションを起点にDXを推進しています。デジタル戦略を通じて、業務やコストの無駄を削ぎ落とす効率化を進める一方、これまでにない付加価値を生み出す挑戦を両輪で推進し、企業価値向上に貢献しています。具体的には、様々なデータを活用したデータ主導の意思決定によって経営や事業のスピードを高め、独自LLMやAIを活用して研究開発を大幅に加速させています。そして、これらを持続的に発展させる基盤として、組織や世代を超えて社員一人ひとりがAIを自在に使いこなせる全社的な「デジタル人材育成」にも注力しています。私たちが持つテクノロジーと社内の知恵を掛け合わせることで、ライオンのモノづくりの成長と、より確かな習慣づくりに貢献していきます。効率化、価値創出、人材育成を一体で進め、その成果を経営や事業の変革へとつなげていきます。これこそが、ライオン全体の大きなトランスフォーメーションを生み出し、会社を次のステージへ押し上げる原動力になると私は信じています。

LION DIGITAL TRANSFORMATION

LDX

習慣を科学する

データやテクノロジーを駆使して
「良い習慣づくり」のために「習慣を科学する」

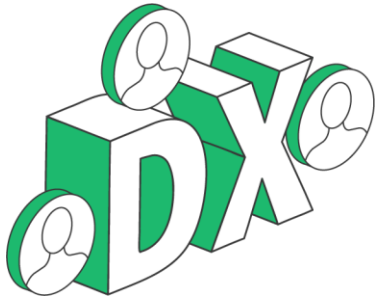
行動や習慣を、デジタル技術やデータサイエンスを使って
「習慣を科学する」ことで、人々のより良い習慣づくりに貢献する
新しい製品・サービスを創出していきます。

01

データ基盤整備による未来予測型経営

デジタルを活用して、過去実績・将来予測に基づく施策・改革のマネジメントを可能にし、2nd STAGE実現の蓋然性を高めます。

02



DX民主化によるオペレーショナル・エクセレンス

個の成長に加え、全社員対象のスキル別育成プログラムを実施することでリテラシー向上を図り、業務管理や運用効率化による競争優位を獲得します。

03

デジタル活用による重点領域強化

デジタルプラットフォーム整備によるオーラルヘルスケア事業支援を実施。重点事業領域拡充に向けて、柔軟でスケーラブルな基盤構築に加え、データ活用によるユーザー体験の向上を実現します。

デジタル戦略部

戦略企画室

Mission

- 全社DXの中長期戦略・重点テーマの企画立案、推進管理
- デジタルガバナンス体制の設計・運用
- ライオングループ全体のDX人材育成

DX推進チーム

Mission

- 全社DXテーマの実行部隊として、企画を確実に成果へつなげる役割
- 現場共創で業務変革を推進し、必要なフロントシステム開発までリード

ビジネスシステムチーム

Mission

- 全社の生産性向上を継続的に実現する“業務のデジタルパートナー”
- 各部門の業務効率化・リスク低減を、最適なシステム企画・開発で支援

デジタルプラットフォームチーム

Mission

- クラウド・データ・セキュリティなど全社デジタル基盤を企画・運用・開発
- CCoE・データマネジメントを担い、安全で高度な全社デジタル環境整備

データと研究員の知見を デジタル融合させた新しい業務体験

企画 → 組成開発・香味開発 → 製造プロセス開発 → 工場 生産

企画 組成開発・香味開発 製造プロセス開発 工場 生産

歯ブラシ・ハミガキ

研究者による実験候補案
組成・プロセス情報
▶ 機械学習アルゴリズム
順問題 ▶ 基本性能・品質結果予測

マテリアルズ・インフォマティクス

最適組成の提案
逆問題 ◀ 機械学習アルゴリズム
◀ 目標物性値・コスト
多目的情報

ハミガキの香味開発

骨子開発

熟達者思考のAI化
香料イメージ・情報
▼
熟達者の知見・思考
▼
材料特徴の情報 / 香料処方の情報
▼
最適な香料処方の提案

最適化

調合作業の自動化

高い計量精度　全自動

膨大な組合せを自動で調合可能

創出された時間

新たな価値創出の時間に活用

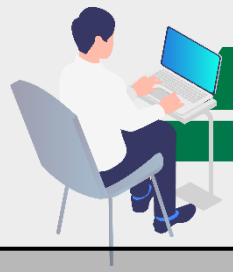
開発スピードアップ

LION AI Chatの内製開発

機密性の高い社内の情報を
安全に取り扱うため

内製での開発を選択

世の中の技術進歩が速い中で、
比較的自由に技術検証を実施するため



社給PC LIONET

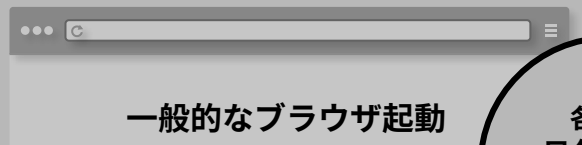
ブラウザ接続 Edge, Chromeなど

社用
webアプリ
登録なく
誰でも使える

各クラウド事業者の契約準拠＆データの安全性確保

LION AI Chatでは

- データが2次利用されない
- データが外部から閲覧されない



一般的なブラウザ起動

各自で
ログインや
規約への
同意が必要

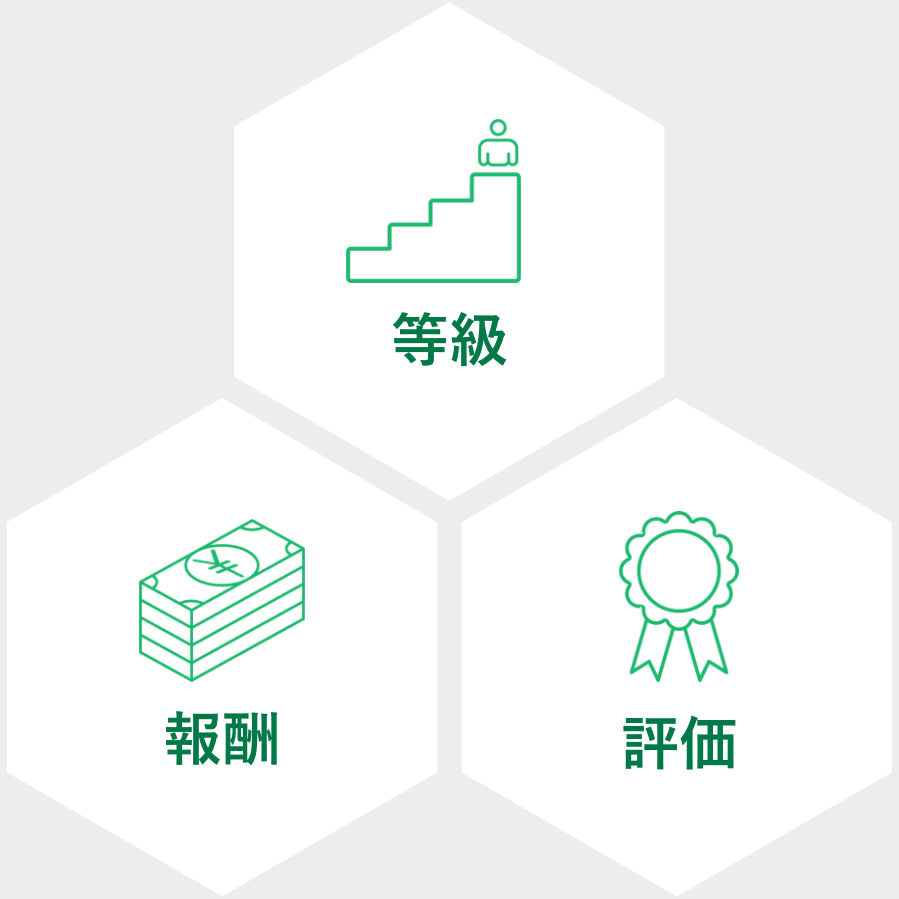
各AIサービスの通常利用では

- ⚠ 学習データに2次利用される
- ⚠ 外部環境にデータが保存される

コアとなる２つの仕組み

今日を愛する。
LION

人事制度



等級制度

職務もしくは役割の大きさによる等級とし、年功的な要素を排除。
マネジメント階層とエキスパート階層のどちらにすすむかを自分で選ぶことができます。

報酬制度

各等級の職務サイズに対して、外部報酬水準と照らし合わせて報酬水準を設定します。

評価制度

成果（結果・プロセス）とし、定義書に定められる役割を果たせたかどうかを評価します。

コアとなる２つの仕組み

成長支援施策

プロ人材育成
（職群）

キャリア
自律支援

職群とは

より専門性が高い人材を獲得・育成するため、専門領域を明示したキャリアパスや専門領域別の育成を実施していく枠組みです。

キャリア自律支援

チャレンジを後押し＆不安を軽減しながら従業員のキャリア自律・キャリア実現をサポートします。

テレワーク制度

「自宅または上長が認めた場所、ネットワーク接続ができ、出社指示があった場合に出社が出来る」といった条件を満たした場合制度活用できます。

テレワーク支援

テレワーク勤務を行った場合、テレワーク手当として支給します。

フルフレックス制度

業務効率向上や健康管理増進を目的として、出社・退社時刻を選択できます。コアタイムは無しで、1日4回まで中抜けも可能です。

※1日の最低就業時間は30分。

休暇制度

- 年間休日124日
- 年次有給休暇
- リフレッシュ休暇
- 特別有給休暇
- 生理休暇
- 積立休暇
- リスタート休暇

配偶者転勤時サポート制度

共働きの当社従業員において配偶者が国内・国外に転勤になった際、勤務地変更・帯同休職・帯同退職のいずれかを選択できる制度です。勤務地変更は異動可能な職務があった場合に限ります。また、帯同退職は再入社が確約されます。

例

※職種によって適用されない制度があります。デジタル戦略部員はすべての制度が適用されます。

カジュアル
面談も実施中

※選考状況によりフローが変動する可能性があります。
※原則、最終面接前に適性検査を受けていただきますが職種により選考フローが変更となる場合もございます。

LIDX

最後までご興味をもっていただきありがとうございます。

まずはカジュアル面談からお話できると嬉しいです！

エントリーはこちらから

今日を愛する。
LION

Lion Corporation.